

今回は先般当財団で実施した、ロボット開発を手掛ける(株)ZMPでの自動配送ロボットに関する取材についてお知らせします。

昨今拡大を続ける小口宅配需要や、新型コロナウイルスの影響による非接触志向の高まりを背景に、配送用の自律走行ロボットの実用化に向けた動きが加速しています。物流業界が抱える課題でもあるドライバー不足の解消に寄与することが期待され、既に多数の実証実験が行われている状況にあります。

これまでの実証実験等を通じ、街中での走行（遠隔監視付き）や安全に関する性能の確保は確認されているようです。

しかしながら、配送ロボットに対するニーズが高まる状況、例えば雨や雪といった悪天候下での走行には更なる技術開発が必要とのこと。

また現時点では、ロボット1台当たりの購入費用が高く（高級車並み）、一事業者が導入・保有することが難しいことから、複数のロボットをシェアリングしながら活用するビジネスモデルを構築する取り組みも始まりました。

同社担当者からは、諸課題の解決にあたり当局とも緊密な連携を図りながら、早期実用化に向けたステップを着実に上っていることが伺えましたが、本格的な普及・拡大には、人々がいかに配送ロボットの有用性（費用面含む）を実感し、利用意向度を高められるかにかかっていると感じました。

当調査報告の詳細は動画化の上、9月に当財団動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」内の「最新のクルマ・交通情報」コーナーに掲載する予定です。

【「早わかり！クルマ塾」内、「最新のクルマ・交通情報」コーナーURLはこちら↓】
<http://www.jaef.or.jp/6-kurumajuku/johokan/latest-news/index.htm>

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

▼"ツイッター"を始めました。

<https://twitter.com/jidousyakyoku>

▼本メルマガへのご登録内容の編集・解除は、以下よりお願いします。

<https://matomete-mail.com/bm/p/f/tf.php?id=149239601>